



疑義照会・処方医への情報提供

## 処方医への不適切な情報提供（投与量）



## 事例

## 【事例の詳細】

患者に、ジヒドロコデインリン酸塩散1%「ホエイ」1回1g1日3回 7日分が処方された。当薬局には在庫がなく、医薬品卸業者からの入荷も困難であったため、薬剤師は処方医に処方変更の提案を行うことにした。ジヒドロコデインリン酸塩散1%と薬局に在庫のあるコデインリン酸塩散1%の力価が同じだと思い込んでいた薬剤師は、処方医にコデインリン酸塩散1%「ホエイ」1回1g1日3回 7日分への変更を提案して了承を得た。その後、薬剤師が添付文書を確認したところ、両製剤は力価が異なるため用量が異なることに気付いた。処方医に再度連絡し、コデインリン酸塩散1%の用法及び用量に関する情報を提供して1日量の変更を提案した結果、コデインリン酸塩散1%「ホエイ」1回2g 1日3回7日分に変更となった。

## 【推定される要因】

ジヒドロコデインリン酸塩散1%とコデインリン酸塩散1%は共にコデイン類含有医薬品であり、効能・効果、規格単位が同一であったため、薬剤師は「力価や用量も同等である」と誤認した。

## 【薬局での取り組み】

ジヒドロコデインリン酸塩散とコデインリン酸塩散の力価や用量の違いに関する比較表を作成して薬剤棚に掲示し、薬局内で注意喚起を行った。

その他の  
情報

販売名	ジヒドロコデインリン酸塩散1% 「ホエイ」	コデインリン酸塩散1% 「ホエイ」
用法及び用量	通常、成人には、1回1g、1日3gを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	通常、成人には、1回2g、1日6gを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

(2026年2月2日現在)

事例の  
ポイント

- 本事例のように、薬剤の在庫不足や昨今の医薬品卸業者からの入荷困難などの状況から、処方医へ代替薬への変更を依頼する場合がある。その際、薬剤師は正確かつ適切な情報提供を行う必要がある。
- ジヒドロコデインリン酸塩とコデインリン酸塩はいずれもコデイン類含有医薬品であり、ジヒドロコデインリン酸塩は、コデインリン酸塩より強い鎮咳・鎮痛作用を持つ。
- 本事例では、薬剤師は処方医に代替薬を提案した後に、ジヒドロコデインリン酸塩散1%とコデインリン酸塩散1%の標準的な用法・用量の違いに気付き、処方医へ説明し直している。処方医に代替薬を提示する際は、薬剤師は事前に情報を確認し、製剤的特性や標準的な用法・用量などを十分に理解したうえで、患者の病態や服薬アドヒアランスに合致した適切な処方提案を行うことが重要である。

